会津 Samurai MaaS プロジェクト（会津 Samurai MaaS プロジェクト協議会）

観光地型

国土交通省 新モビリティサービス推進事業 先行モデル

【実験の概要】「地方都市」と「観光地」二面性を有する会津若松市をフィールドに、グローバルなサービスへのAPI接続を前提に、地域で持続的に運営可能な「ローカルなモビリティサービス」を、生活・観光両面での実証実験を通じ構築する。

【協議会の構成員】会津乗合自動車, 会津鉄道, KCS, デザイニウム, アルパイン, 福島大学経済経営学類吉田研究室　**【協定締結】**会津若松市
【オブザーバー】東日本旅客鉄道, NEC会津イノベーションセンター, ITS Japan　**【連携団体】**観光ビューロー, 会津圏域公共交通活性化協議会

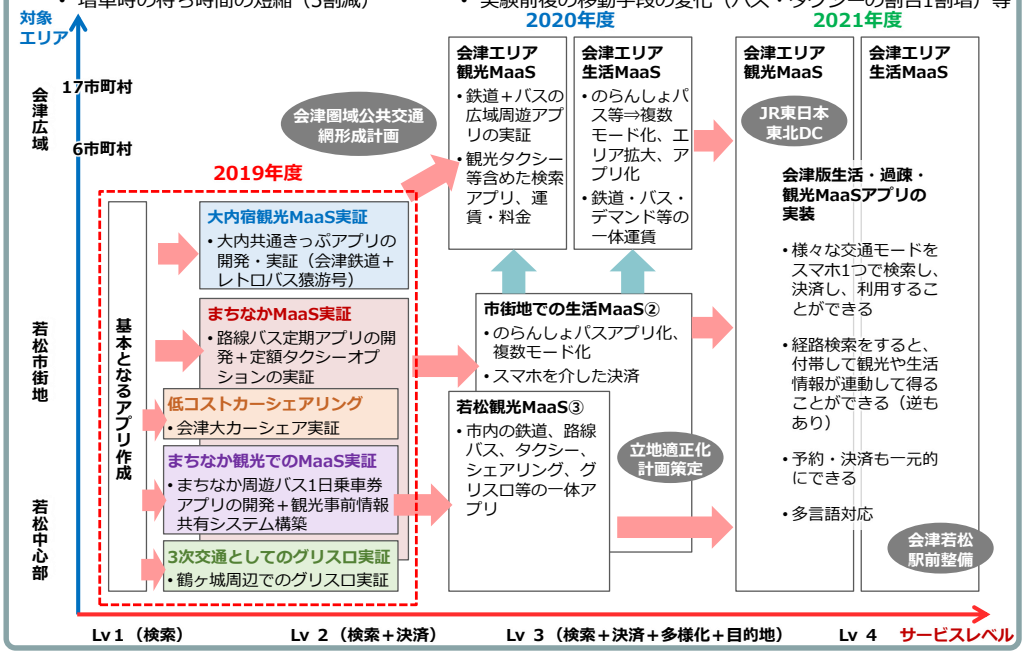
【地域の交通課題】

	会津若松市中心部及び市街地部	会津若松市郊外部及び会津圏域
生活	• マイカー依存 • まちなかの交通不便性（城下町特有の課題） • 路線バスのみで移動手段を確保することが困難 • 公共交通の担い手不足（運転手不足）	• マイカー依存 • 高齢者の移動手段の確保 • 広域路線バスの維持困難 • 路線バスのみで移動手段を確保することが困難 • 公共交通の担い手不足（運転手不足）
観光	• インバウンド対応 • 観光利用によるランダムな混雑発生に対し、まちなか周遊バスの増車対応が困難 • まちなか周遊バス以外のバス・鉄道利用が限定的（沿線から外れた観光地への来訪が限定的） • 様々な観光客向けサービス・情報がバラバラに提供されている	• インバウンド対応 • 鉄道（会津線・只見線）からの二次交通の充実・利便性向上 • 鉄道・バス等の接続利便性向上

先行して解決を図る交通課題 → ※段階的に解決領域を拡大していく

【本格的な導入に向けた検証項目、目標値、ロードマップ】

- 周遊箇所が増加した観光客の割合（2割増）
- 観光客の周遊箇所の増加（平均1箇所増）
- 増車時の待ち時間の短縮（5割減）
- 乗り切れない人数の削減（5割減）
- 利用者の満足度（8割）
- 実験前後の移動手段の変化（バス・タクシーの割合1割増）等



【実証の内容】

交通課題	プロジェクトで「目指したい姿」	プロジェクト
■観光（中心部） • 教育旅行の自由行動やFIT増加によるランダムな混雑発生に対し、まちなか周遊バスの増車対応が困難 • まちなか周遊バス以外のバス・鉄道利用が限定的（沿線から外れた観光地への来訪が限定的） • 様々な観光客向けサービス・情報がバラバラに提供されている • 公共交通担い手不足 • まちなか周遊バス車内で一日乗車券が販売できない **■観光（会津圏域）** • 鉄道（会津線・只見線）からの二次交通の充実・利便性向上 • インバウンド対応 • 公共交通担い手不足	• 「まちなか周遊バス」を円滑に利用でき、かつ、他の路線バスや鉄道利用の選択性が高まることで、**観光者の来訪圏域が拡がる。** • 供給制約（乗務員不足）の中、「まちなか周遊バス」の増車対応を効率的に行える。**（需給のミスマッチを小さくする）** • 教育旅行のまちなか観光を対象に実証を行う。将来的には、その結果を踏まえて、個人旅行者・FITや会津広域観光への展開を検討する。（事前決済による購入容易化、アプリを通した供給側の情報共有の仕組み構築等） • 会津若松から大内宿までの移動手段として、会津鉄道とレトロバス猿游号を一体的に利用でき、かつ、発地側での共通割引きっぷを購入（事前予約・決済）できることで、**観光客の利便性が向上し周遊範囲が拡がる。** • 供給制約（乗務員不足）の中、「レトロバス猿游号」の増車対応を効率的に行える。**（需給のミスマッチを小さくする）**	**Ⅰ 会津 Samurai MaaS（観光）プロジェクト** **Ⅰ－① 教育旅行を対象にした会津まちなか観光MaaS実証** ■教育旅行の事前情報共有システム構築の検討 ■まちなか周遊用の一日乗車券アプリの構築・実証 **Ⅰ－② 鉄道＋バスによる大内宿観光MaaS実証** ■大内宿共通割引きっぷアプリの開発（会津鉄道＆レトロバス猿游号） **Ⅰ－③ 3次交通としてのグリスロ実証** ※ 新モビ推進事業とは別途実施し連携を図る ⇒ 将来的に、1回券実装や会津広域観光への展開
■生活（中心部及び市街地部） • マイカー依存 • まちなかの交通不便性（城下町の課題） • 路線バスのみで移動手段を確保することが困難 • 公共交通担い手不足 **■生活（郊外部及び会津圏域）** • 広域路線の維持困難 • 高齢者の移動手段の確保 • 公共交通担い手不足	• 会津若松市中心市街地において、城下町の「強み」である人口密度と**バス路線網の密度の高さ**※をベースに、限られた範囲を面的にカバーする優位性がある**乗用タクシーの定額サービスをオプションに加えた**「ソフト」が構築されることで、モビリティサービスが多様化され、**中心市街地のアクセシビリティが向上**する。 ※ 但し、経由地は多くなりがちであり、各路線の運行回数が多いとは限らない • バス停別**乗降人数を把握**できる。 • 事前決済により**定期券等を容易に購入**できる	**Ⅱ 会津城下町 MaaS（生活）プロジェクト** **Ⅱ－① バス＋タクシーによる会津まちなか生活MaaS実証** ■中心市街地のバス定期券アプリの開発（月極・一日単位） ■定期券アプリによる定額タクシーオプションの実証 **Ⅱ－② 低コストカーシェアリング・目的別マッチングサービスの実証** ※ 新モビ推進事業とは別途実施し連携を図る ⇒ 将来的に、郊外部や会津圏域の生活交通への展開